

表Ⅱ-1\_5 シカの分布メッシュ数

地域名	シカ分布メッシュ数				
	1988年	1995年	2002年	2012年	2019年
大崩	137 ( 20.5 )	247 ( 37.0 )	576 ( 86.2 )	660 ( 98.8 )	662 ( 99.1 )
祖母・傾山	141 ( 24.0 )	291 ( 49.5 )	568 ( 96.6 )	588 ( 100.0 )	588 ( 100.0 )
九州山地	166 ( 15.0 )	687 ( 62.2 )	831 ( 75.2 )	1,092 ( 98.8 )	1,051 ( 95.1 )
大森山系	259 ( 31.7 )	584 ( 71.6 )	722 ( 88.5 )	774 ( 94.9 )	716 ( 87.7 )
市房・尾鈴	162 ( 19.3 )	581 ( 69.2 )	710 ( 84.6 )	837 ( 99.8 )	789 ( 94.0 )
椎葉・五ヶ瀬	5 ( 1.1 )	122 ( 26.8 )	411 ( 90.1 )	456 ( 100.0 )	441 ( 96.7 )
小計	870 ( 19.5 )	2,512 ( 56.2 )	3,818 ( 85.4 )	4,407 ( 98.5 )	4,247 ( 95.0 )
調査対象地域外				5,667	4,470
合計	870	2,512	3,818	10,074	8,717

( )内は、各地域における全メッシュ数に対する分布メッシュの割合(%)

調査対象地域外のメッシュ数は2012年から算出

## 2) まとめ

### 生息分布調査の結果と分析

カモシカとシカの分布状況を把握するため、アンケートによる生息分布調査を行った。アンケート対象地域において268件のアンケートを送付し、189件を回収した。回収率は約70.5%であり、前回調査(66.9%)よりも高かった。

調査対象地域のカモシカの分布メッシュは503メッシュであった。カモシカは調査対象地域の11.2%に分布している結果となった。調査対象地域外の分布は39メッシュであった。

シカについては、調査対象地域内の分布メッシュは4,247メッシュで、前回調査の4,407メッシュをわずかに下回った。シカは調査対象地域の95.0%に分布している結果となった。

### 被害状況調査の結果と分析

カモシカとシカの被害状況を把握するため、アンケートによる生息分布調査の際に被害情報の収集も行った。アンケート対象地域の森林管理署と森林組合41団体に被害に関する回答を求め、28団体から回答が得られた。

カモシカによる被害は報告されなかった。今回は回答をカモシカによる被害に限ったため、シカによる被害と見分けがつかないことにより、カモシカによる被害の可能性もあるが回答できないという意見が寄せられた。また、シカによる被害が大きく、カモシカによる被害が仮にあったとしても目立っていない状況にあると考えられた。前回の調査ではカモシカによる被害はヒノキに対する1件であった。

# 資料

## 1 アンケート用紙

### 記入要領 1 (分布情報)

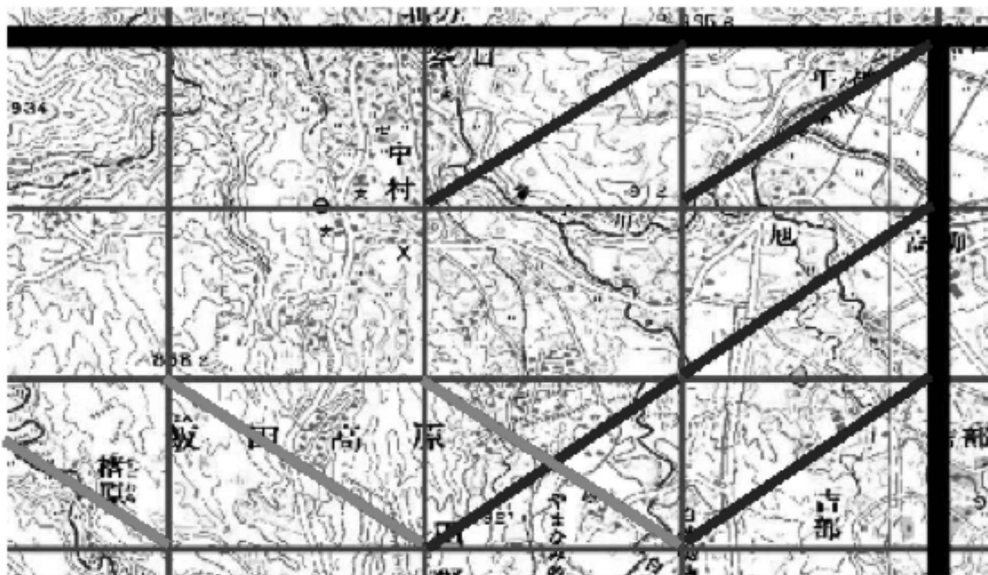
カモシカおよびニホンジカの最近の分布を、同封の地図に下記の要領でご記入下さい。地図はお住まいの地域または所管の地域が含まれるものをお送りしています。

### 記入例)

最近5年間(平成27年～現在)で、カモシカおよびニホンジカを確認したことがある地点を含むマス目に、カモシカは青、ニホンジカは赤で斜線を入れて下さい。

カモシカのいるマス目：/ (青で斜線)

ニホンジカのいるマス目：\ (赤で斜線)

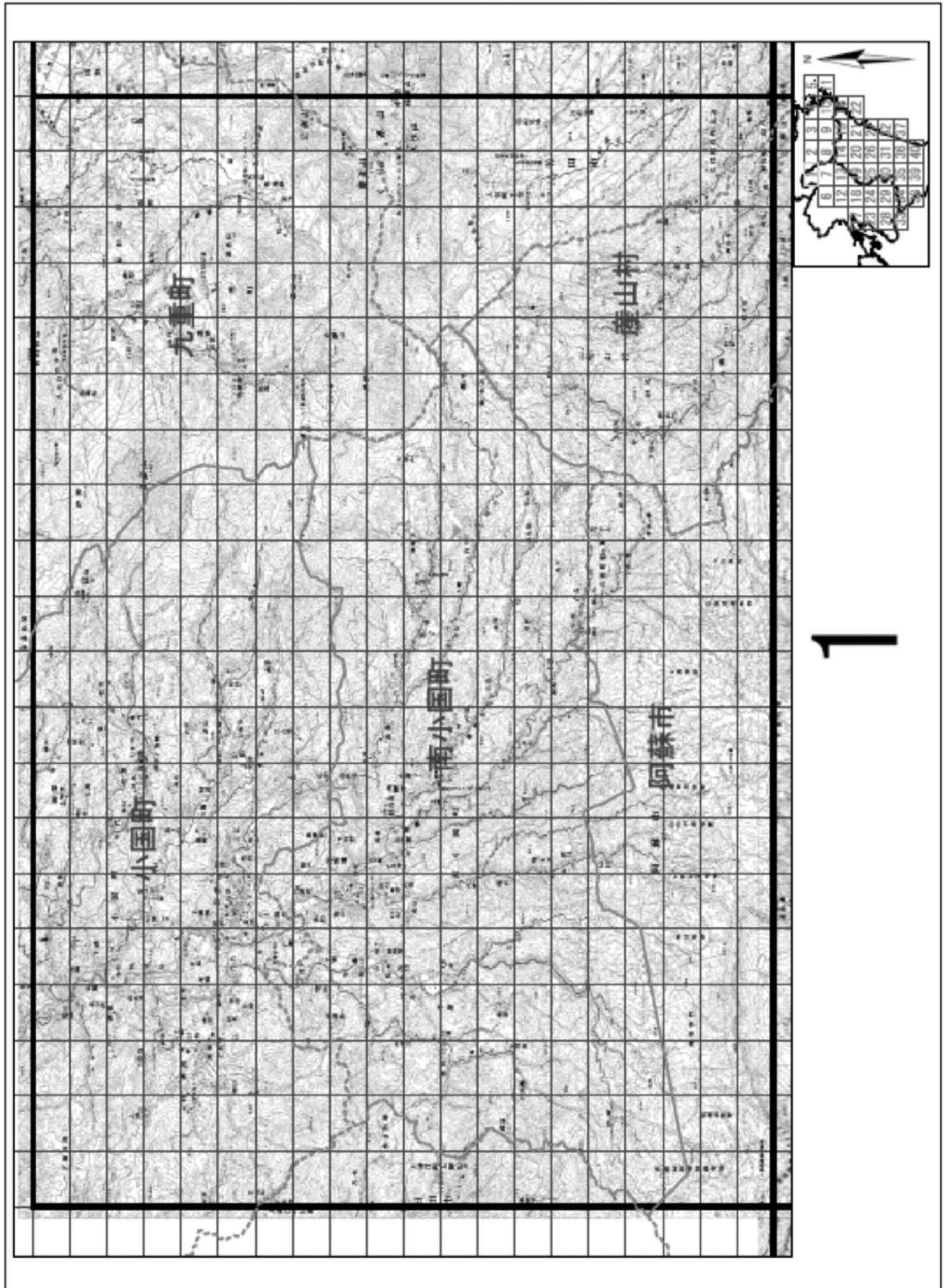


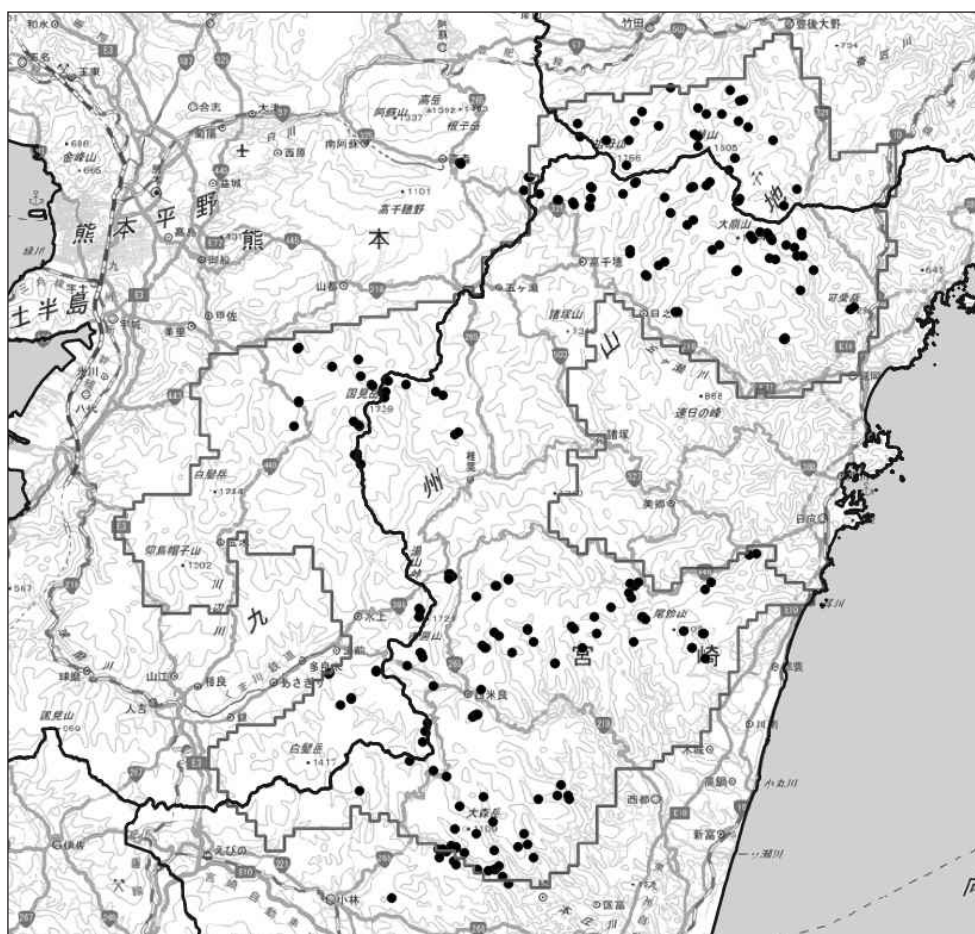
カモシカ



ニホンジカ

2 アンケート用地図





図Ⅱ-1\_7 九州山地調査方形区位置図

### 3 生息密度

糞塊法によるカモシカの生息密度推定の結果を以下に示す。また、糞粒法によるシカ密度推定等の結果も簡単に述べる。糞のDNA分析によるカモシカとシカの判別については第3節で、センサーカメラによる自動撮影調査結果については第Ⅲ章で詳述する。糞塊法による生息密度調査を行った調査方形区的位置は図Ⅱ-1\_1に示している。なお、これ以降に使用する地形図は、国土地理院標準地図である。

#### (1) 大分県

大分県における糞塊法によるカモシカ生息密度推定調査および植生調査は、2018（平成30）年9月から2019（令和元）年12月まで竹田市、豊後大野市、佐伯市の3市21カ所26地点で実施した（図Ⅱ-1\_8、3\_9、3\_10、3\_11、3\_12）。その調査経過と結果を各々表Ⅱ-1\_6、Ⅱ-1\_7にまとめている。表Ⅱ-1\_7には比較のために同一もしくは近接した地点で実施された過去4回の特別調査結果もあわせて示している。

今回の特別調査においても、前回特別調査の結果との密度変化を把握するために原則として前回と同一の地点を糞塊調査の対象とした。加えて、通常調査の結果を参考にして新たに生息情報が得られた地点を選定した。さらに、生息確認及び生息密度と撮影頻度との関連等、新たな調査方法の検討に資するため、糞塊調査地の一部とその他生息が見込まれる地点でのセンサーカメラによる自動撮影調査を実施した。

近年、日本各地でシカの個体数増加と植生、特にカモシカの餌ともなる下層植生の衰退が懸念されて

いる。シカの増加及び分布の拡大とカモシカの生息状況の変化の関連を調べる一助として、カモシカ密度推定調査時においてシカに関する調査も実施した。方法は、カモシカ調査方形区内において1×1mの方形区をできるだけ多く設定し、糞粒法によってシカ密度を推定した。

第1回特別調査によって、大分県のカモシカ生息地は緩木山分布界、祖母・傾コアエリア、杉ヶ越ブリッジエリアの三つに大別されることが示されている。第1回から第4回の報告書に準じて、各々の地域について結果の概要を以下に示す。

#### a 緩木山分布界調査結果の概要

調査場所：竹田市緩木地区（越敷岳北斜面、神原、振顔野、倉木山）。図Ⅱ-1\_8、表Ⅱ-1\_6、1\_7。

この地域は大分県内のカモシカ分布域の西北端にあたり、九州山地の生息地の北限にもあたる地域であった。最近のカモシカ分布変化に伴い、九州山地の北限も東方に移動しつつある。南の熊本県側はなだらかな地形でカモシカの生息にはあまり適していないと考えられるものの、西端の大野川上流域では谷沿いに急峻な地形となっており、2005年及び2016年には滅失事例も報告されている。

西端の越敷岳北斜面（方形区名YUR-A）では低密度ながらも生息が認められていたが、前回はカモシカの糞塊の発見に至らなかった。今回の調査では1糞塊ではあるもののカモシカの糞塊が発見され、自動撮影によっても生息が確認されている。一方で、緩木山の南東に位置する神原（KOB-A）では、前回は糞塊が発見されていたが、今回は発見に至っていない。ただ、自動撮影によってカモシカと判断される画像が得られており、より低標高地の人家周辺で頻繁に目撃情報があることから、低密度ながらも生息していることは確実である。さらに、2020年1月には滅失個体も発見された。

新たにカモシカと思われる糞塊の情報に基づいて設定した近隣のKOB-B方形区では生息確認には至らなかった。しかし、隣接するより高標高地の地点に現地調査員によって独自に設置されたセンサーカメラによってカモシカ画像が確認されており、生息は確実である。竹田市東部、稜線の前障子西側にあたる振顔野（FUR-A）では、第1～3回の特別調査では3.66～0.17頭/km<sup>2</sup>と密度が急減し、第4回の前回調査では生息が確認できなかった。今回は0.24頭/km<sup>2</sup>と低密度ながらも生息が再確認された。前回新たに調査地を設定し、比較的高い生息密度（0.67頭/km<sup>2</sup>）が得られていた倉木山西斜面（KUR-A）では、今回は生息の確認ができなかった。

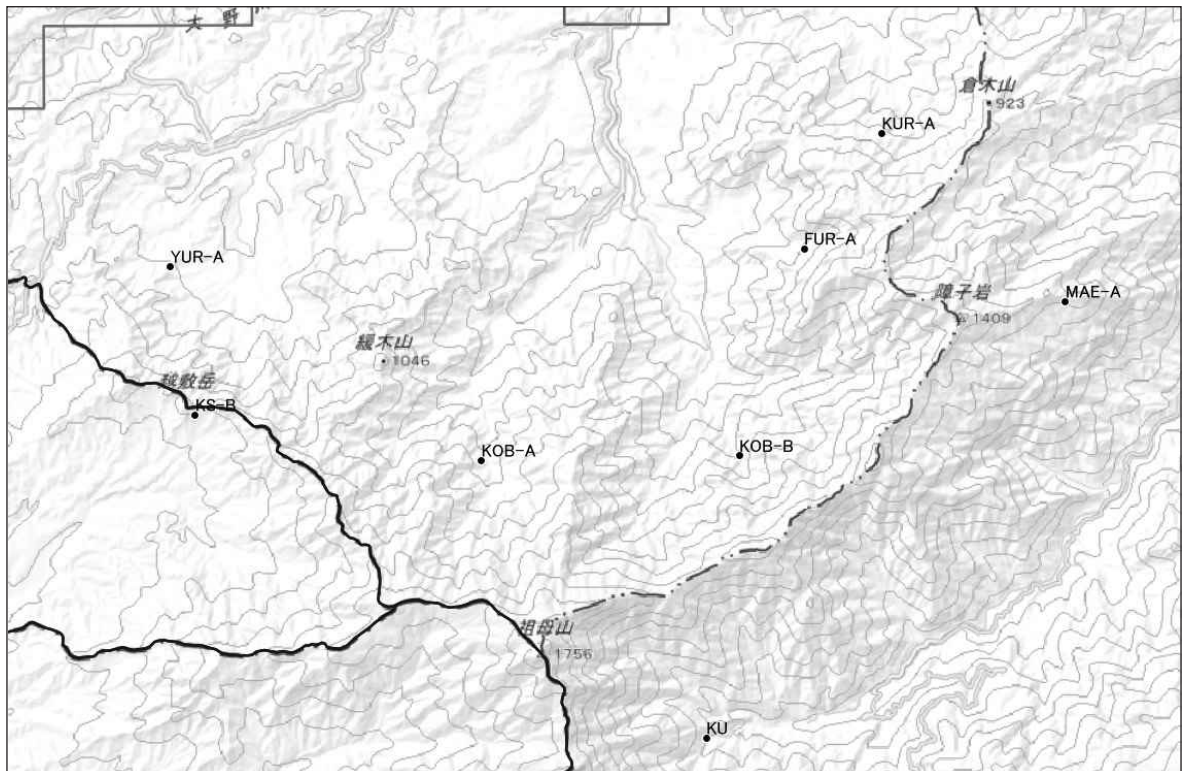
竹田市緩木地区においては、前述のように2005年に2個体、2016年と2020年に各1個体の滅失例が確認されており、2019年には保護の事例も報告されている。平均の生息密度は0.06頭/km<sup>2</sup>と低密度ではあるが、前回確認できなかった地点で糞塊が再確認できたことや、新たな痕跡や人家周辺の低標高地で目撃情報があいついでいることは特筆される。

表Ⅱ-1\_6 大分県調査経緯表

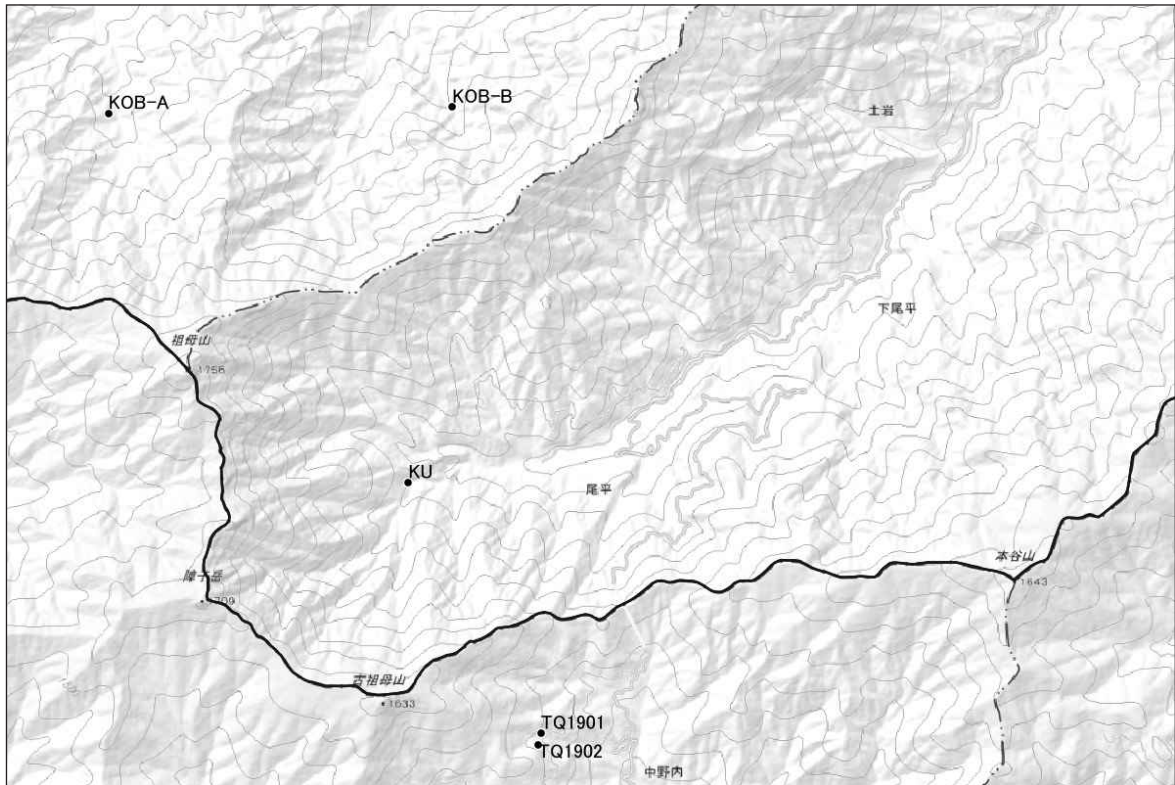
調査年月日	天候	調査地	方形区記号	調査人員		調査内容
				動物班	植物班	
2018/9/25	晴	竹田市中角、神原		4	1	自動撮影カメラ設置、電池・メモリー交換
2018/9/26	曇一時雨	豊後大野市緒方町九折、前障子、駄床林道、三重町大白谷林道		4	1	自動撮影カメラ設置、電池・メモリー交換、予備調査
2018/9/27	曇	佐伯市宇目町木浦鉱山、鷹鳥屋社、本匠		4	1	自動撮影カメラ交換、予備調査
2018/9/28	晴	豊後大野市城山、柚河内、桑河内、下轟		4	1	自動撮影カメラ交換、滅失個体頭骨回収
2018/12/7	曇	豊後大野市			15	特別調査打ち合わせ会
2018/12/8	晴	豊後大野市三重町稲積	INZ-A	14	3	糞調査、植生調査、自動撮影カメラ設置
2018/12/9	曇	豊後大野市三重町桑河内	KWU-B	11	1	糞調査、植生調査
2019/1/25	晴	豊後大野市緒方町烏嶽	KAR-A	8	0	糞調査
2019/1/26	晴	竹田市神原		8	2	痕跡調査(降雪のため糞調査見合わせ)
2019/1/27	晴	竹田市神原白水、緩木		11	3	痕跡調査(降雪のため糞調査見合わせ)
2019/2/15	曇	豊後大野市緒方町豊栄林道山手本	HIG-A	8	1	糞調査、植生調査
2019/2/16	曇	豊後大野市緒方町豊栄林道ドウカイ谷、傾登山道	MO-A、KAT	12	2	糞調査、植生調査、自動撮影カメラ回収、電池・メモリー交換
2019/2/23	晴	豊後大野市緒方町前障子	MAE-A	10	1	糞調査、植生調査、自動撮影カメラ電池・メモリー交換
	晴	豊後大野市緒方町駄床林道内ノ口線	DAD-A	11	1	糞調査、植生調査、自動撮影カメラ電池・メモリー交換
2019/3/1	晴	佐伯市宇目町鷹鳥屋社	TAK-A	11	1	糞調査、植生調査
2019/3/2	晴	佐伯市宇目町杉ヶ越、皿内	SUG-A、SAR-A	10	1	糞調査、植生調査
2019/3/3	雨	豊後大野市三重町、竹田市神原		10	1	現地視察(カモシカ生息場所確認)
2019/3/23	曇	竹田市振顔野	FUR-A	12	2	糞調査、植生調査、自動撮影カメラ電池・メモリー交換
2019/3/24	晴	竹田市緩木	YUR-A	13	1	糞調査、植生調査、自動撮影カメラ電池・メモリー交換
2019/5/10	晴	佐伯市宇目町杉ヶ越	SUG-B	12	2	糞調査、植生調査
2019/5/11	晴	佐伯市宇目町藤河内	FUJ-A、FUJ-B	17	2	糞調査、植生調査
2019/5/12	曇	佐伯市宇目町七年山	HIC-A	12	2	糞調査、植生調査
2019/5/24	晴	豊後大野市三重町稲積		5	0	自動撮影カメラ電池・メモリー交換、現地視察(カモシカ生息場所確認)
2019/5/25	晴	豊後大野市三重町城山、清川町御獄	SHI-A、ONT-A	12	2	糞調査、植生調査
2019/5/26	晴	豊後大野市三重町桑河内、奥中林道		11	2	自動撮影カメラ電池・メモリー交換、現地視察(カモシカ生息場所確認)
2019/6/14	雨	豊後大野市三重町稲積		5	0	自動撮影カメラ設置
2019/7/6	曇	佐伯市宇目町		4	0	自動撮影カメラ回収、設置
2019/8/1	晴	竹田市、豊後大野市		3	0	自動撮影カメラ回収、設置
2019/8/2	晴	竹田市、豊後大野市		3	0	自動撮影カメラ回収、設置
2019/8/3	晴	豊後大野市、佐伯市宇目町		3	2	現地視察(カモシカ生息場所確認)、植生調査
2019/8/20	曇	竹田市神原	KOB-A	5	2	糞調査、植生調査
2019/8/21	晴	竹田市倉木	KUR-A	6	2	糞調査、植生調査
2019/8/22	晴	竹田市神原白水(新規)	KOB-B	5	2	糞調査、植生調査
2019/8/31	曇	豊後大野市緒方町		0	2	植生調査
2019/9/1	曇	豊後大野市緒方町		0	2	植生調査
2019/9/18	晴	豊後大野市緒方町川上溪谷黒金谷	KU	4	1	糞調査、植生調査
2019/9/19	晴	豊後大野市三重町稲積		3	0	自動撮影カメラ電池・メモリー交換
2019/10/6	曇	佐伯市宇目町		0	2	植生調査
2019/10/14	晴	豊後大野市緒方町		0	2	植生調査
2019/10/27	曇	竹田市神原		0	2	植生調査
2019/11/1	晴	豊後大野市三重町大白谷	OST-A	5	0	糞調査
2019/11/2	晴	豊後大野市三重町桑河内A	KWU-A	5	0	糞調査
2019/11/15	晴	佐伯市宇目町、豊後大野市三重町、清川町		4	0	自動撮影カメラ回収、電池・メモリー交換
2019/11/16	晴	竹田市、豊後大野市緒方町		3	0	自動撮影カメラ回収、電池・メモリー交換
2019/12/21	晴	豊後大野市三重町稲積(新規)	INZ-B	6	1	糞調査、自動撮影カメラ回収
2019/12/22	雨	豊後大野市三重町、佐伯市宇目町		10	1	現地視察(カモシカ生息場所確認)

表Ⅱ-1\_7 2018・2019年度大分県カモシカ生息調査結果

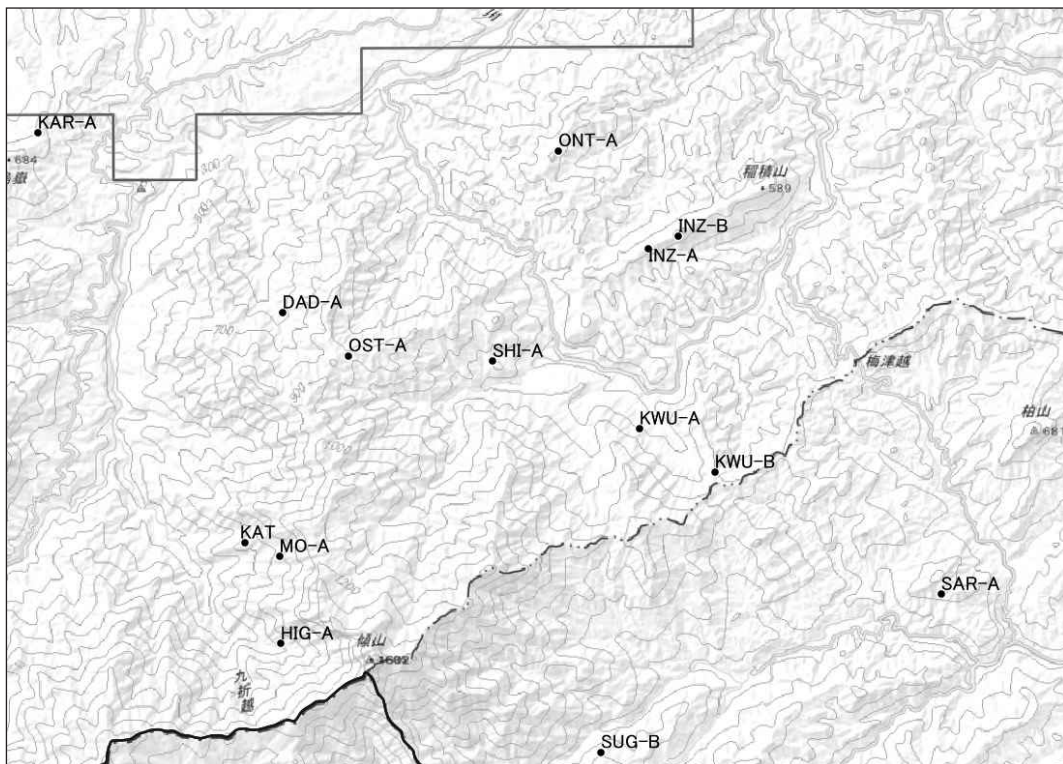
行政区	調査地名	調査日	方形区名	班	3次メッシュコード	調査面積 (m <sup>2</sup> )	基点標高 (m)	カモシカ生息数		推定密度 (頭/km <sup>2</sup> )						シカ糞		シカ推定密度 (頭/km <sup>2</sup> )				
								新	中	古	計	2018/2019	2011/2012	2002/2003	1994/1995	1987/1988	1m <sup>2</sup> 平均		1×1mサンプル数			
竹田市緩木地区																						
竹田市	竹田市越敷岳北斜面(緩木)	2019/3/24	YUR-A		49312234	17358	630	32.867306	131.302639	0	1	0	0	1	0.07	0.00	0.23	0.51	0.70	6.63	130	33.3
竹田市	竹田市神原	2019/8/20	KOB-A		49312217	16568	875	32.847617	131.339867	0	0	0	0	0.00	0.14	0.00	0.00	1.42	0.60	108	3.1	
竹田市	竹田市神原白水(新規)	2019/8/22	KOB-B		49312219	5314	790	32.848000	131.370817	0	0	0	0	0.00	-	-	-	-	0.42	114	2.3	
竹田市	竹田市振顔野	2019/3/23	FUR-A		49312330	20471	820	32.868917	131.378667	0	1	3	0	0.24	0.00	0.17	1.56	3.66	8.96	115	12.0	
竹田市	竹田市倉木	2019/8/21	KUR-A		49312351	6269	750	32.890556	131.388056	0	0	0	0	0.00	0.67	0.00	-	-	1.77	120	10.2	
平均														0.06	0.20	0.10	0.51	1.72				
豊後大野市緒方町地区																						
豊後大野市	緒方町川上溪谷黒金谷	2019/9/18	KU		49311279	17084	760	32.819500	131.366750	0	0	0	0	0.00	0.38	7.87	10.01	13.06	1.14	100	8.2	
豊後大野市	緒方町前陣子	2019/2/23	MAE-A		49312332	22106	1110	32.863472	131.410028	0	0	0	0	0.00	0.14	0.45	1.09	-	5.71	113	4.3	
豊後大野市	緒方町烏嶺	2019/1/25	KAR-A		49312384	10790	510	32.906056	131.426111	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	5.42	-	5.30	47	38.6	
豊後大野市	緒方町臥床林道内ノ口線	2019/2/24	DAD-A		49312357	42685	570	32.883033	131.462917	0	0	0	0	0.00	0.00	-	-	-	5.37	115	31.1	
豊後大野市	緒方町豊栄林道ドウカイ谷	2019/2/16	MO-A		49312317	6223	865	32.852000	131.462283	0	1	0	1	0.20	0.00	0.00	1.85	-	1.25	84	5.7	
豊後大野市	緒方町豊栄林道傾登山道	2019/2/16	KAT		49312317	13940	735	32.853750	131.457028	0	0	0	0	0.00	0.00	-	-	-	3.22	120	16.4	
豊後大野市	緒方町豊栄林道山手本谷	2019/2/15	HIG-A		49312307	12887	805	32.840889	131.462417	0	0	0	0	0.00	0.00	0.31	-	-	3.90	106	18.8	
平均														0.03	0.07	1.48	5.35	-				
豊後大野市清川町・三重町地区																						
豊後大野市	清川町御嶽	2019/5/25	ONT-A		49312470	22914	555	32.903483	131.504600	0	1	0	0	1	0.05	0.06	-	-	-	1.29	111	6.4
豊後大野市	三重町稲積A	2019/12/8	INZ-A		49312461	16821	520	32.890917	131.518139	3	3	5	3	##	1.01	1.50	-	-	-	13.7	83	96.8
豊後大野市	三重町稲積D(新規)	2019/12/21	INZ-B		49312461	6000	585	32.892520	131.522680	0	2	0	2	0.41	-	-	-	-	6.95	112	49.3	
豊後大野市	三重町城山	2019/5/25	SHF-A		49312349	16195	495	32.876730	131.494520	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	1.03	0.28	4.29	112	22.3	
豊後大野市	三重町桑ヶ内A	2019/11/2	KWU-A		49312431	4700	450	32.868056	131.516667	0	0	0	0	0.00	0.15	0.21	3.41	-	0.34	56	2.9	
豊後大野市	三重町桑ヶ内B	2018/12/9	KWU-B		49312432	18572	540	32.862472	131.528000	0	0	0	0	0.00	0.06	0.00	-	-	3.79	103	26.3	
豊後大野市	大白谷	2019/11/1	Ost-A		49312347	11500	815	32.877500	131.472778	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.81	0.12	109	0.7	
平均														0.21	0.30	0.06	1.57	0.45				
佐伯市宇目町地区																						
佐伯市	宇目町皿内	2019/3/2	SAR-A		49312415	22562	415	32.846778	131.562000	0	0	0	0	0.00	0.11	1.04	0.00	-	5.71	113	31.9	
佐伯市	宇目町杉ヶ越A	2019/3/2	SUG-A		49311470	30722	910	32.814133	131.503767	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	1.11	-	10.7	128	40.9	
佐伯市	宇目町杉ヶ越B	2019/5/10	SUG-B		49311481	26797	610	32.826883	131.510583	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	-	-	1.72	130	8.2	
佐伯市	宇目町鷹島屋敷	2019/3/1	TAK-A		49311447	16979	595	32.792667	131.583556	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.24	-	1.66	127	8.1	
佐伯市	宇目町藤河内(夏木山)A	2019/5/11	FUJ-A		49311431	7453	920	32.781667	131.517200	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	-	-	0.11	126	0.4	
佐伯市	宇目町藤河内(夏木山)B	2019/5/11	FUJ-B		49311431	13661	1110	32.779680	131.514810	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	-	-	4.28	136	13.4	
佐伯市	宇目町七年山	2019/5/12	HIC-A		49311426	16809	655	32.773067	131.576050	0	0	1	0	1	0.07	0.00	0.00	-	-	0.43	143	2.0
平均														0.01	0.02	0.16	0.34	0.07				



図Ⅱ-1\_8 大分県緩木山分布界、祖母・傾山コアエリア調査方形区的位置①



図Ⅱ-1\_9 大分県祖母・傾山コアエリア調査方形区の位置②



図Ⅱ-1\_10 大分県祖母・傾山コアエリア調査方形区の位置③



**b 祖母・傾山コアエリア調査結果の概要(1)**

調査場所：豊後大野市緒方町（祖母山川上溪谷黒金谷、傾山豊栄林道、前障子小河内林道、烏嶽）。  
 図Ⅱ-1\_8、1\_9、1\_10、表Ⅱ-1\_6、1\_7。

この地域では1950年代後半（昭和30年代初頭）からカモシカの生息調査及び生態調査が行われている。1970年代初めからは祖母山川上溪谷での密度調査も継続されており、カモシカの分布の核であったと同時に九州山地のカモシカ生息地における学術的な調査の中心地でもあった。

第1回特別調査以前からの長期間の密度変化が把握されている川上溪谷黒金谷方形区（KU）では、20年来安定していた糞塊密度が1987年頃をピークに減少傾向にあることが窺える（表Ⅱ-1\_8）。

表Ⅱ-1\_8 祖母山学術参考林内黒金谷のカモシカ糞塊密度の年次変動

調査年	月	調査面積 (m <sup>2</sup> )	糞塊数 (n)	糞塊密度 (n/m <sup>2</sup> )
1973	5	2,800	29	0.010
1975	7	2,800	40	0.014
1976	1	1,400	15	0.011
1977	12	2,800	29	0.012
1983	12	2,800	35	0.013
1985	3	2,800	33	0.012
1986	4	2,800	31	0.011
1987	3	2,800	39	0.014
1988	2	2,800	30	0.011
1994	9	2,800	23	0.008
2002	11	930	6	0.006
2009	10	3,200	1	0.0003
2019	9	17,084	0	0.000

前障子小河内林道（MAE-A）では、1975（昭和50）年に大分県による生息状況調査が行われており（大分県教育委員会、1976）、0.18～0.74頭/km<sup>2</sup>という値が報告されている。前3回の特別調査を通じて生息密度が減少し、今回は糞塊が発見されていない。稜線をはさんで西側に位置する竹田市振顔野（FUR-A）でも密度の急激な低下が見られていたが、今回はわずかながら生息が確認されている。より分布の周辺部に位置する竹田市倉木（KUR-A）や第2回調査で新たに分布が確認され、生息密度も高かった烏嶽（KAR-A）では、糞塊が発見されていない。

傾山豊栄林道付近は目撃情報が多く得られている地域である。ドウカイ谷（MO-A）付近では、過去に数度の生息調査、生態調査が実施されている（大分県教育委員会、1973、1984、小野ら、1978）。ここでは植樹の壮齢林化により下生えが少なくなり、カモシカにとって好適な生息地ではなくなっている。前回、前々回の調査では糞塊は認められていなかったが、今回は1糞塊ながら確認されている。前々回から設定した山手本谷（HIG-A）と傾山登山道（KAT）でも今回は糞塊の発見にいたらなかった。

前回新規に調査を行った駄床林道内ノ口線（DAD-A）は第2回特別調査時まで高密度であった滞迫から尾根をはさんだ東側に位置する。ここでも糞塊を発見することはできなかった。

これらの結果、豊後大野市緒方町地区の平均密度は0.03頭/km<sup>2</sup>と大きく生息密度が減少した前回からさらに1/2に減少しており、危機的な状況にある。ただ、糞塊が発見されなかった黒金谷近辺に設置したセンサーカメラではカモシカが撮影されており、より低標高地の豊栄鉦山跡地周辺や滞迫周辺でも目撃情報があるなど、新たな生息地を把握できていない可能性がある。

**c 祖母・傾山コアエリア調査結果の概要(2)**

調査場所：豊後大野市清川町（御嶽）、三重町（稲積、大白谷、城山、桑河内）。図Ⅱ-1\_10、表Ⅱ-1\_6、1\_7。

傾山から伸びた稜線に囲まれたこの調査地域は、大分県のカモシカ分布界北東部にあたる。前回、比較的高密度の生息がみられた御嶽 (ONT-A) と稲積 (INZ-A) では生息が再確認された。特に稲積において 1.01 頭 / km<sup>2</sup> と前回の 1.5 頭 / km<sup>2</sup> には及ばないものの比較的高密度の生息が認められた。あらたに設置した隣接する INZ-B でも 0.41 / km<sup>2</sup> の生息密度で、自動撮影調査においても安定してカモシカが撮影されている。一方で、大白谷 (OST-A)、城山 (SHI-A) では糞塊が発見されなかった。これらの結果は、半ば孤立して分布していると考えられた傾山から北に伸びた稜線の東側ではまとまった生息が認められ、現在では大分県における分布の中心のようになっていることを示している。

この地域の南部に位置し、杉ヶ越ブリッジエリアにつながる稜線沿いにある桑河内 (KWU-A, B) では前回、低密度ながら生息が認められたが、今回は糞塊が発見されていない。ただ、2018年2月の予備調査では KWU-B の付近で糞塊が見つかっており、自動撮影でも確認されていることから、生息していることは確実である。また、隣接する大規模林道沿いでは現地調査員によってたびたび目撃されている。

この地域の平均密度は 0.21 頭 / km<sup>2</sup> と大分県内では比較的高いものの、依然として低い水準にある。

#### d 杉ヶ越ブリッジエリア調査結果の概要

調査場所：佐伯市宇目町 (皿内、杉ヶ越、鷹鳥屋社、藤河内、七年山)。図 II - 1\_11、図 II - 1\_12、表 II - 1\_6、1\_7。

本調査地域は傾山から南東に伸びる稜線沿いから夏木山 - 宮崎県境の稜線沿いの分布域での生息密度調査と、大分県での東端の分布をおさえることを目的としている。

傾山南東稜線に位置する杉ヶ越 (SUG-A, B) および夏木山東斜面の藤河内 (FUJ-A, B) は前回とほぼ同じ調査地点であるが、いずれの地点においてもカモシカの糞塊を発見することはできなかった。

宮崎県境の北斜面に位置する七年山東斜面 (HIC-A) では 1 糞塊が発見され、生息が確認された。七年山西斜面では第 2 回特別調査で生息が確認された後に植林の林齢があがってカモシカの生息に適さなくなってきた。今回、前回から調査地を設定した七年山の東側斜面において低密度ながらも分布が認められた。ただ、残された自然林は多くなく、狭い範囲に限定されているようであった。

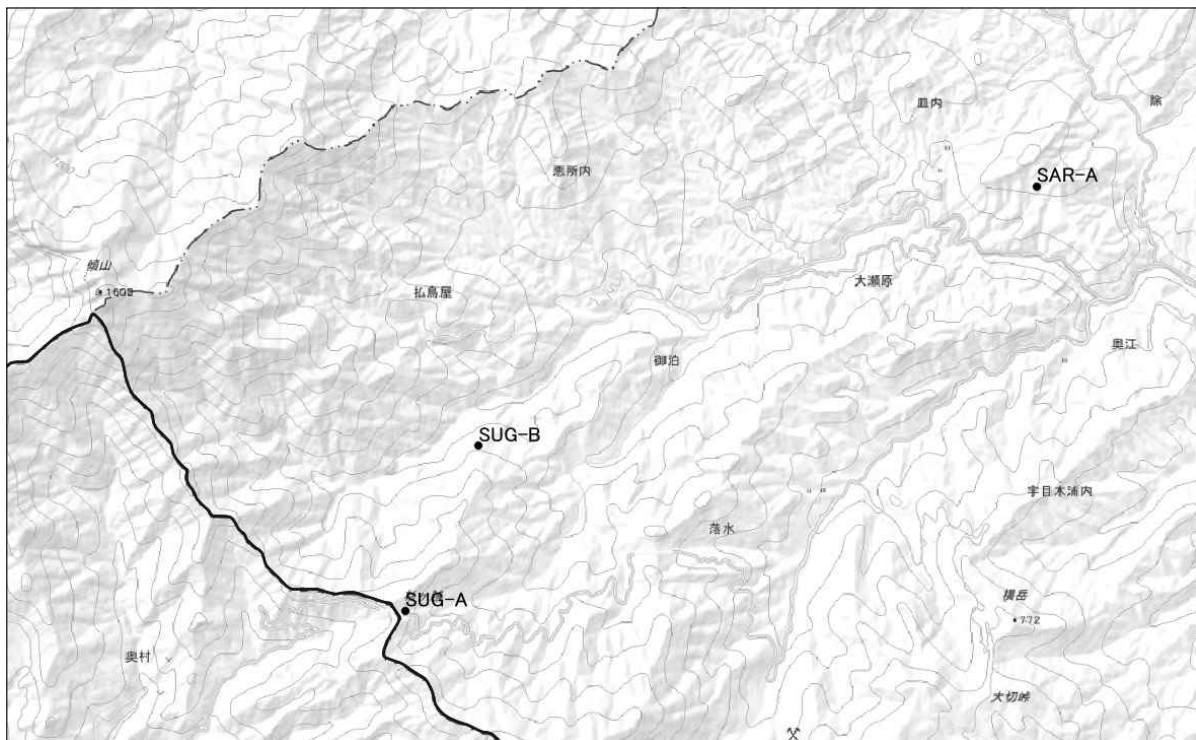


図 II - 1\_11 大分県杉ヶ越ブリッジエリア調査方形区的位置①